学習習慣（家庭） 7・8・9年

－ 自主性・主体性を育てながら、自らを律する力を伸ばす －

宮古島市立 結の橋学園

部活動や新たな習い事などを始める人が多いため、小学生の頃と生活リズムが大きく変わります。

特に、家庭学習のための時間と睡眠のための時間をきちんと設定しておく必要があります。

家庭での過ごし方を定期的に見直しみましょう。

また、「やるべきこと」も「やりたいこと」もたくさん出てきて、両立させるのが難しくなる時期でもあります。

わかっていることを指摘されると反抗することもあります。

子ども扱いせず、大人へのステップとしながら関わっていく場面が必要になってきます。

関係づくり

中学生は多感な時期です。
学習や部活動、友達関係や将来の目標などを話し合う関係をつくります。

環境づくり

子どもの学習しやすい環境を作りましょう。
学習中はテレビを消したり、一緒に読書をしたりしましょう。
目安は1～2時間
受験生は3時間以上

意欲づけ

プラスの声がけをしながら、継続することの大切さを教えましょう。

国　語

●漢字の読み書き
熟語やことわざ、熟字訓など、毎日少しずつ覚えましょう。

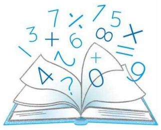
●ワーク等
間違えた問題は納得がいくまで確認しましょう。

●読書
できれば質の高い文学作品に触れましょう。

数　学

●計算の練習
計算を正しく速くできるように何度も繰り返し練習しましょう。
計算後は、すぐに丸付けをします。間違えた問題はなぜ間違えたのかを理解し、もう一度やってみましょう。

●活用する力
教科書やワークにある発展問題にチャレンジしましょう。



社　会

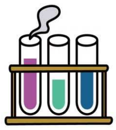
● 歴史
… 歴史の流れを理解し人物や出来事がどう関わっているか関連させて覚えましょう。

●地理
… その地域の特色を理解し、農業や工業・自然など自分の言葉で言えるようにしましょう。

● 公民
… 現代社会や政治経済が自分の生活とどう関わっているかを理解しながら進めましょう。

理　科

●まとめる力
復習を基軸としましょう。
実験や授業等で知ったことを振り返り、まとめながら理解を深めましょう。



●ワーク等
ワーク等を利用し、知識や理解を確実なものにしましょう。

英　語

●英単語・英文
英語は言語ですので、英単語や英文をたくさん書いたり読んだりして理解を深めましょう。

●ワーク等
問題集を何度もやることで理解を深めましょう。

その他

●評価
がんばったことは、声をかけたりするなどして、評価をしてあげましょう。

●家の手伝い
家族の一員として何か仕事を任せましょう。生活にリズムができます。